

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 **障がい者・(児)**

事業所名（施設名） **はなみずき**

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	○意志表出が難しい利用者の特性を考慮し、家族との相談を密にして、職員が利用者の様態を観察することで思いを推察する意識を持って取り組んでいる。個別支援マニュアルに反映している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	○身体拘束や虐待防止権利侵害防止等について、法人の法令順守規定等で取り決められ、慎重な運用が行われている。異常事案の早期発見を意識して、施設到着時等に利用者の身体状況を確認していることはその取り組みのひとつである。重度の利用者特性を考慮すると利用者への直接的な権利擁護の取り組みは難しいため、家族と協力のもと利用者への配慮を今後も継続してほしい。
	2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 □ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	重度の障がいを伴う利用者が多いことから自律・自立の援助については限界があり対応が難しい現実がある。職員は利用者の特性を考慮して意思表示を促し、自己判断を重視する支援を心掛けている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	○利用者特性に応じたコミュニケーション方法（表情観察・ボディランゲージ・写真カード等）がとられている。
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 □ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	○意志表出が難しい利用者の特性を考慮すると、意志確認の機会や意思決定支援の方法を取りにくいことが推察できるが、日頃から取り組んでいる支援全般にわたり心掛けていく思いを汲む関わりをより深め、家族との相談を継続し利用者の思いが反映される支援の継続を期待する。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	○利用者の様態や思い、家族の意向も考慮した個別支援計画と個別支援マニュアルを施設の日中活動に反映させて活動のプログラムを充実させている。
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	○利用者特性に応じ、静かな環境が必要な場合には固有スペースを提供するなど、現在の設備面で可能な中で適切な支援が実施されている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 □ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	○食事や排せつ対応等は利用者特性を考慮した支援が行われている。入浴支援は併設している施設間で共用している入浴設備を利用するため、利用が週1回に限定されてしまう。利用契約時に書面で理解されていることであるが、入浴支援を希望するニーズは多いことが想定されるため、施設間で課題としていくことが必要と思われる。
A	2	(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	○総合施設として併用している部門やスペースがあるため、機能的でない面があるが、現状の環境で更衣室や相談室スペースを活用するなど、工夫して利用者特性に考慮し環境を整えている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	○併設する法人入所施設から週1回作業療法士が派遣されており、機能訓練が充実している。医療機関との連携もとられている。
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	○医療機関との連携、歯科衛生士の定期検診、排泄等の健康状態の把握、身体状況の把握等、健康面に留意がされている。特に口腔ケアに積極的に取り組んでいる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にやっている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法によりやっている。 □ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	○医師は常駐でないが、常勤看護師が摘便等の医療行為に対応している。利用者かかりつけ医師と年2回嘱託医師の検診で指示書が出されている。それでも緊急時の変化に迅速に対応できない面があることが職員間では課題であると認識されている。
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	○意志表出が難しい利用者の特性を考慮し、表情等で思いを汲みとることで要望に応えることを重視している。外出や買物の要望などで対応がされている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<input type="checkbox"/> 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 <input type="checkbox"/> 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 <input type="checkbox"/> 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。	○在宅者に通所支援を提供しているため、地域生活や地域のおサービス提供との調整を積極的に行うことは難しい面があるが、家族の意向も考慮して、通所形態で地域生活を継続することを基本として、併設する相談支援部門との連携で対応がとられている。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。	○通所形態の在宅利用者であるため、日常的に家族と連絡を取り合い、相談や支援が行われている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<p>80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。</p> <p>81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。</p> <p>82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p> <p>83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	非該当
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		<p>84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p> <p>85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p> <p>86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p> <p>87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p> <p>88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p> <p>89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	非該当

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。		<p>90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者と作成するよう努めている。</p> <p>93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	非該当
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		<p>96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。</p> <p>97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	非該当